

令和4年度 社会と情報 シラバス

教科名	情報	単位数	2単位
科目名	社会と情報	クラス	2年
使用教科書	新編社会と情報（東京書籍）	補助教材	新編社会と情報資料ノート

1. 学習の到達目標

- (1) 情報機器を適切に活用し、情報を収集、分析しながら問題を解決する力を身につける。
- (2) 情報機器を活用したコミュニケーションや情報発信において、他者への配慮や責任をもつ態度を育てる。
- (3) 情報化が社会に及ぼす影響や課題について理解し、情報社会に積極的に参画する態度を育てる。
- (4) コンピュータや情報通信ネットワークのしくみを理解し、情報社会を支えるシステムに関心をもつ。

2. 評価の観点

ア. 関心・意欲・態度	イ. 思考・判断・表現	ウ. 技能	エ. 知識・理解
情報化が社会に及ぼす影響や課題について関心を持ち、情報社会の一員として主体的に参画していく態度を身につけている。	情報を科学的にとらえ、身近な問題の解決方法を考えとともに、情報社会における自分自身の行動のあり方について、情報モラルの視点から、適切に判断し、表現することができる。	コミュニケーションや問題解決などの場面において、情報機器や情報通信ネットワークを効果的に活用する力を身につけている。	コンピュータや情報通信ネットワークのしくみを理解するとともに、情報社会を生きるための基礎的な知識を習得している。

3. 年間学習指導計画及び評価方法等

4月		1 情報を表現する	選択分野についてのオリエンテーション 01 情報とさまざまなメディア、02 伝達と仕組み
5月	中間考査		03 ネットワークで広がる世界、04 情報の共有 05 インターネットの利用、06 デジタルデータの特徴
6月			07 デジタルの世界、08 数値と文字のデジタル化 09 画像のデジタル化、10 2進・10進・16進法
7月	期末考査	2 ネットワークを検索する	11 IPアドレスとルータ、12 サーバの役割と仕掛け 13 インターネットへの接続、14 WWW
9月			15 電子メール、16 情報検索、17 情報の信頼性 18 コミュニケーション手段の発達、19 特徴 20 上手なネットコミュニケーション
10月		3 情報社会の課題を考る	21 インターネットにおけるのめり込み、22 やめる 23 出会いトラブルの危険性、
11月	中間考査		24 個人情報やプライバシーを守る、 25 ネットワーク詐欺に遭わない
12月			26 情報セキュリティーに気をつける
1月	期末考査	4 情報で暮らしが変わる	27 相手を傷つけない、28 慎重に投稿する。 29 著作権、30 情報を扱う責任
2月			31 日常の中の情報システム、32 データの有効活用 33 情報技術と仮想空間、34 情報技術と流通システム 35 情報化と社会の変化、36 誰もが情報を利用できる社会 37 デジタルバイド、38 システムの信頼性 40 問題解決
3月			41 発想法